

出題意図

助産学を学ぶための基礎となる母性看護学の知識を問う問題である

模範解答

I

省略

II

| | | |
|----------------|----------------|-------------|
| 設問 1 8 点 | 設問 2 14 時間 | 設問 3 9 点 |
| 設問 4 ダンカン様式 | 設問 5 340 ml | |

III

設問 I
収縮期血圧が 140mmHg または拡張期血圧が 90mmHg 以上を高血圧とし、妊娠週数に関わらず高血圧がみとめられたもの

設問 II
省略

設問3

妊婦の全身状態の観察

血圧、体重、子癇の前駆症状の眼症状（眼科閃発など）、脳症状（頭痛など）、消化器症状（吐き気・嘔吐など）、浮腫、尿検査、尿量測定、常位胎盤早期剥離の徴候（出血、子宮の緊張度、腹痛）

肝機能、腎機能、血液凝固検査

胎児の健康状態の観察

胎児の発育状態、胎児心拍数、胎動の減少

- ・胎児に対してNSTを実施する。

安静のための環境整備

- ・子癇発作の危険性がある場合には、高い安静度がみとめられるため、光・音の刺激を軽減するための環境整備

薬物療法が適切に行われるための内服管理と観察

- ・降圧薬の内服管理を行い、過度の血圧低下や胎児心拍数の低下がないか観察
- ・子癇と思われる症状をみとめたときは、適切な高痙攣治療と高血圧治療、脳卒中などの他疾患との鑑別診断のための検査が行われるため、すみやかに対応する。

保健指導

- ・既往疾患、家族歴、肥満、過剰体重増加など、妊娠高血圧症候群のリスク因子の有無を把握する。
- ・予防的に肥満防止に向けた食事・生活指導を行う。
- ・外来において高血圧がみとめられたときは、家庭血圧測定の方法を説明し、実施するよう支援する。
- ・妊婦が自身の症状をどのように理解しているのかの確認と、重症化や母児の生命への不安、入院などのストレスを軽減するように看護を行う。